

上田小県はなぜ
蚕種日本一になったのか？

単元 1

蚕種の製造販売

阿部勇



1

蚕種(さんしゅ)とは？

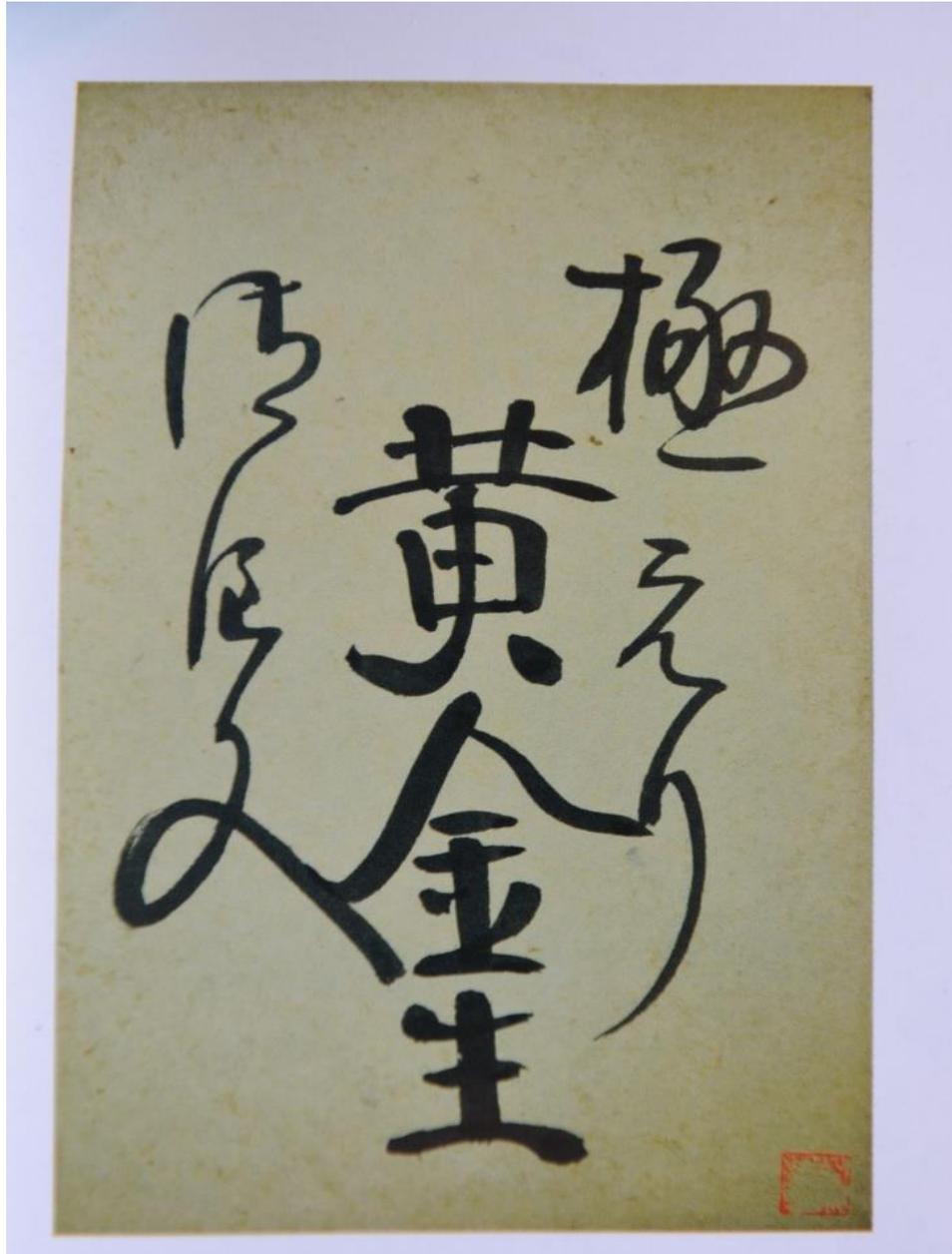


蚕種(たね)

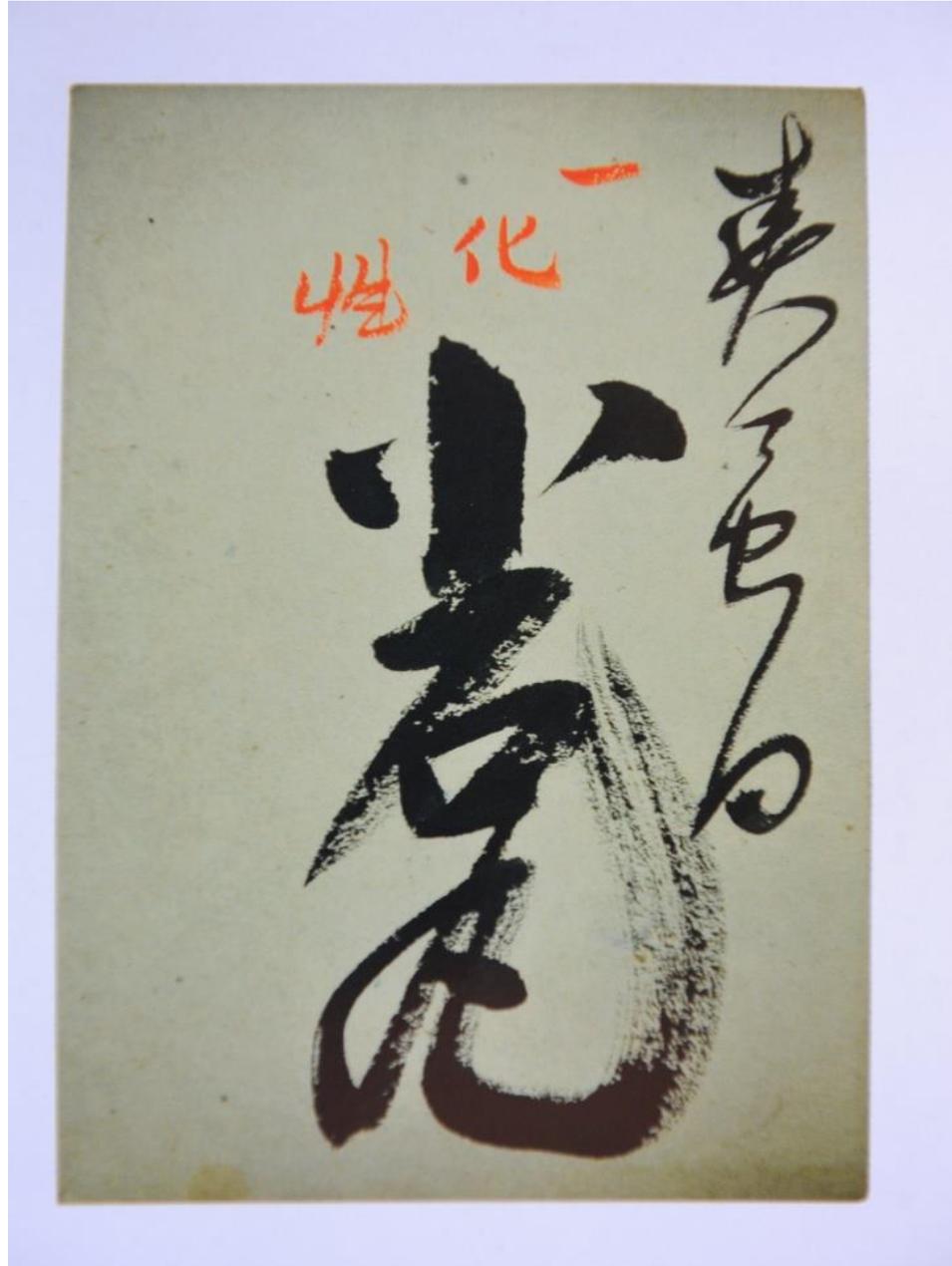
蚕卵—おかいこさまのたまご

- 卵を産み付ける和紙を産卵台紙
(蚕種原紙)
- 卵を産み付けた和紙を蚕種紙
(たねがみ)

2 産卵台紙(蚕種原紙)とは？一平付け



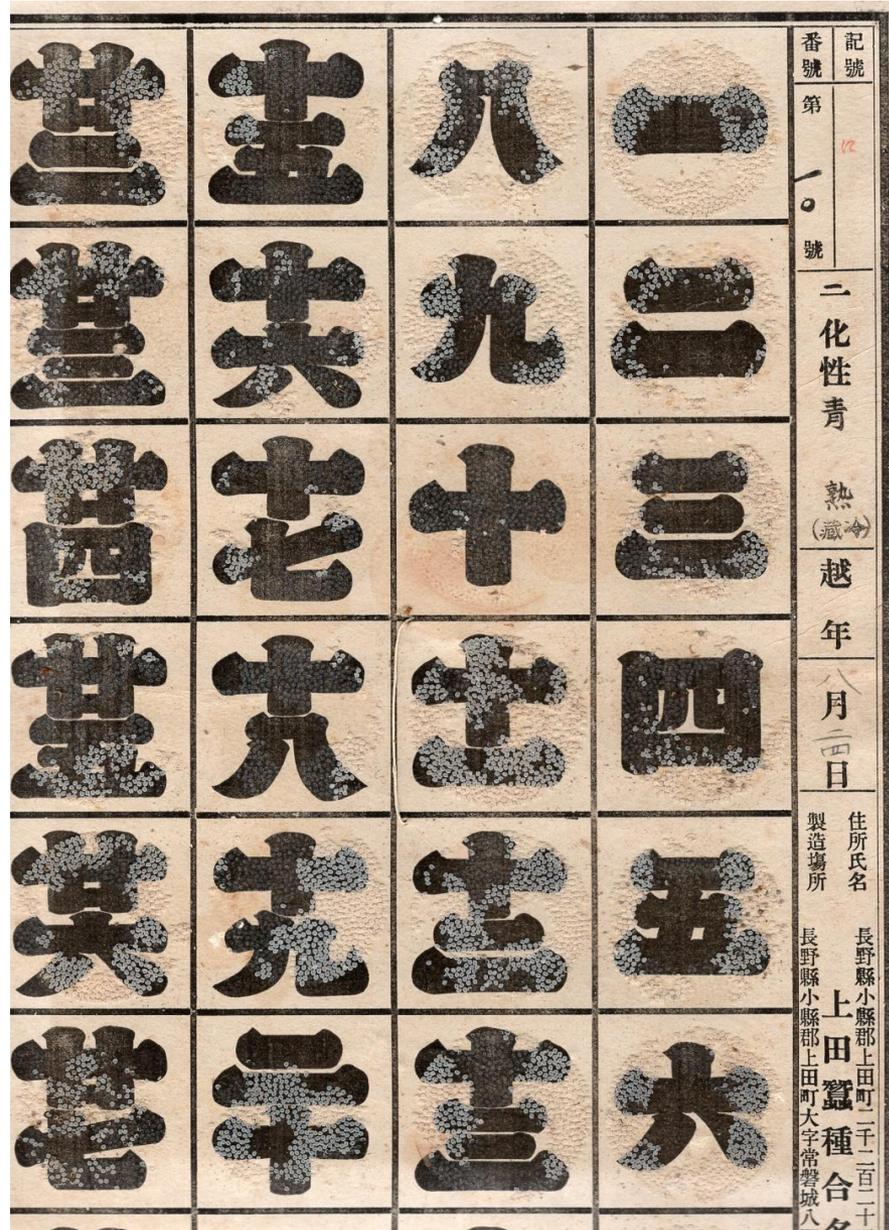
皇后さまが飼育している小石丸(上田産)



3 蚕種紙とは？ — — — 平付け(幕末)



4 蚕種紙一棹付け(大正6年・上田)



5

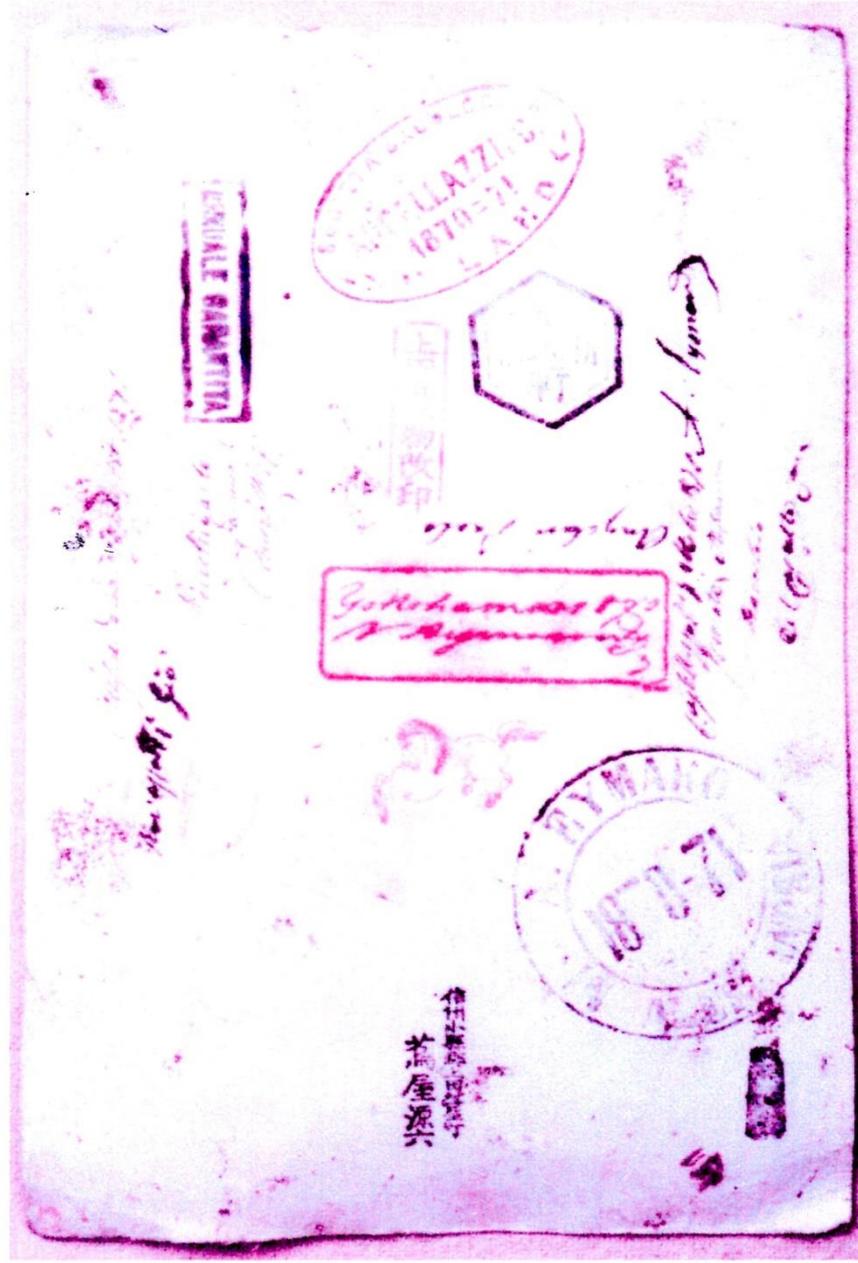
蚕種製造販売の歴史

- 1 古代中国→長州下関(蚕種渡来の大きな記念碑)
- 2 全国にひろがる
- 3 奥州(福島県伊達・信夫地域)が蚕種の本場に
(江戸時代初期?)
- 4 信州上田地域が蚕種の本場となる
(天保年間—1830~)
- 5 慶応元年(1865)からヨーロッパへの輸出開始
- 6 明治20年代(1888ごろ)から蚕種の国内市場が
急速に拡大 ←風穴の利用

イタリアで発見された上田の蚕種紙



上田 → イタリア の 裏面



明治30年代から蚕種の製造販売が 大きく伸びる日本の蚕糸業界 なぜだろうか？ — 風穴蚕種の登場



6 風穴とは？—天然の冷蔵庫

山のガラ場斜面から冷風が吹き出す所へ石室を



6

独鈷山風穴の現在



工藤善助の存在（蚕種→製糸）

- 独鈷山風穴の所有者一蚕の種から
生糸まで品質管理
- 製糸結社「依田社」第2代社長
- 製糸業界に入る前は蚕種製造販売
- 長野県蚕種業界の頭（衆議院議員）
- 日本製糸業界の代表（衆議院議員）

7

大正初期の独鈷山風穴



傍陽の蚕種風穴を外国人が視察



穴風平氷村陽傍郡縣水縣聖長

8 風穴蚕の種登場で年に5回も蚕が飼える

7回という例もある

1	春蚕	5月上旬	はるご
2	春蚕2期	5月下旬	
3	夏蚕	6月下旬	なつご
4	初秋蚕	7月下旬	あきご
5	晩秋蚕	8月中旬	
6	晩晩秋蚕	9月上旬	
7	初冬蚕	9月下旬	

9

蚕種は今一上田蚕種株式会社

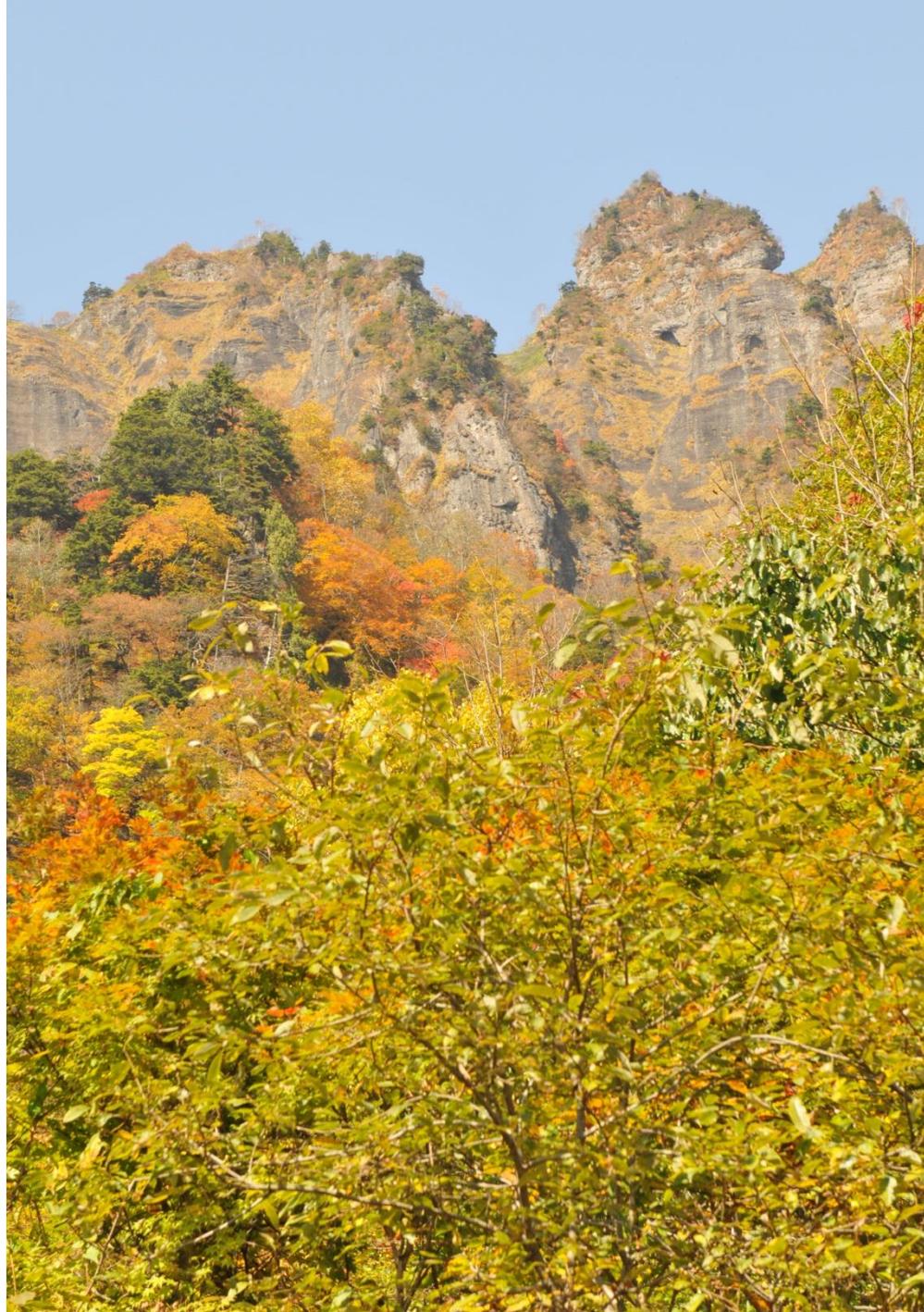




単元 2

上田小県はなぜ 蚕種日本一になったのか

阿部勇



1 地形・気候・人物、なんといっても人

丸子の依田川原



1

藤本善右衛門



1

工藤善助



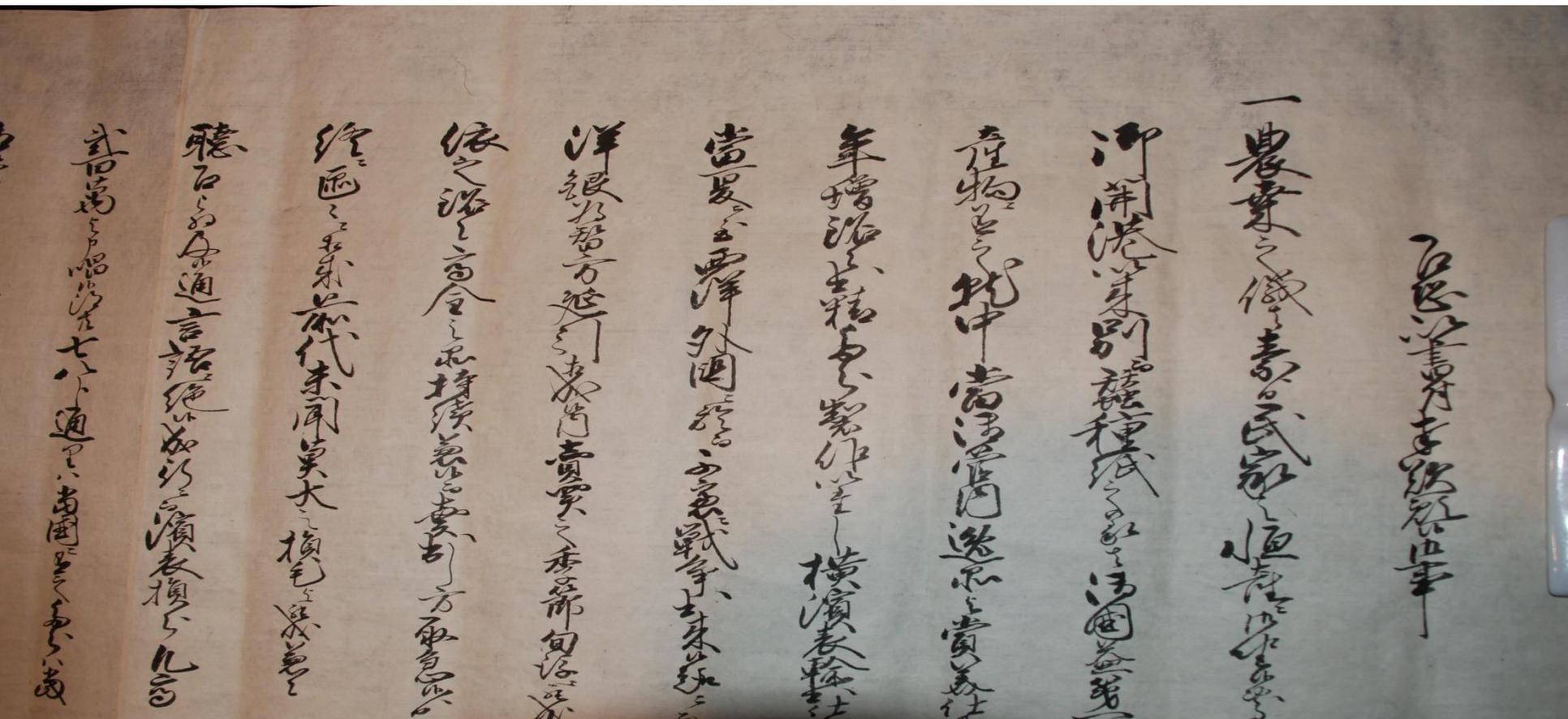
2 日本初の生糸蚕種輸出は上田から 横浜開港当初(幕末1859年)から



3

明治3年の上田蚕種

明治3年に上田藩が横浜へ出荷した蚕種
 →ヨーロッパへ(主にイタリア・フランス)
 日本一の輸出枚数を誇った上田蚕種



4 蚕種は「海外」輸出用から 「内国」国内製造用へ

- ・慶応元年から明治10年ごろまで輸出で
- ・明治7年ごろから国内へと販売先を変え
- ・明治6年の政府による蚕種販売規則
- ・国内養蚕種の増大—養蚕農家の2分化
 - 蚕種繭生産農家
 - 製糸用繭生産農家

5

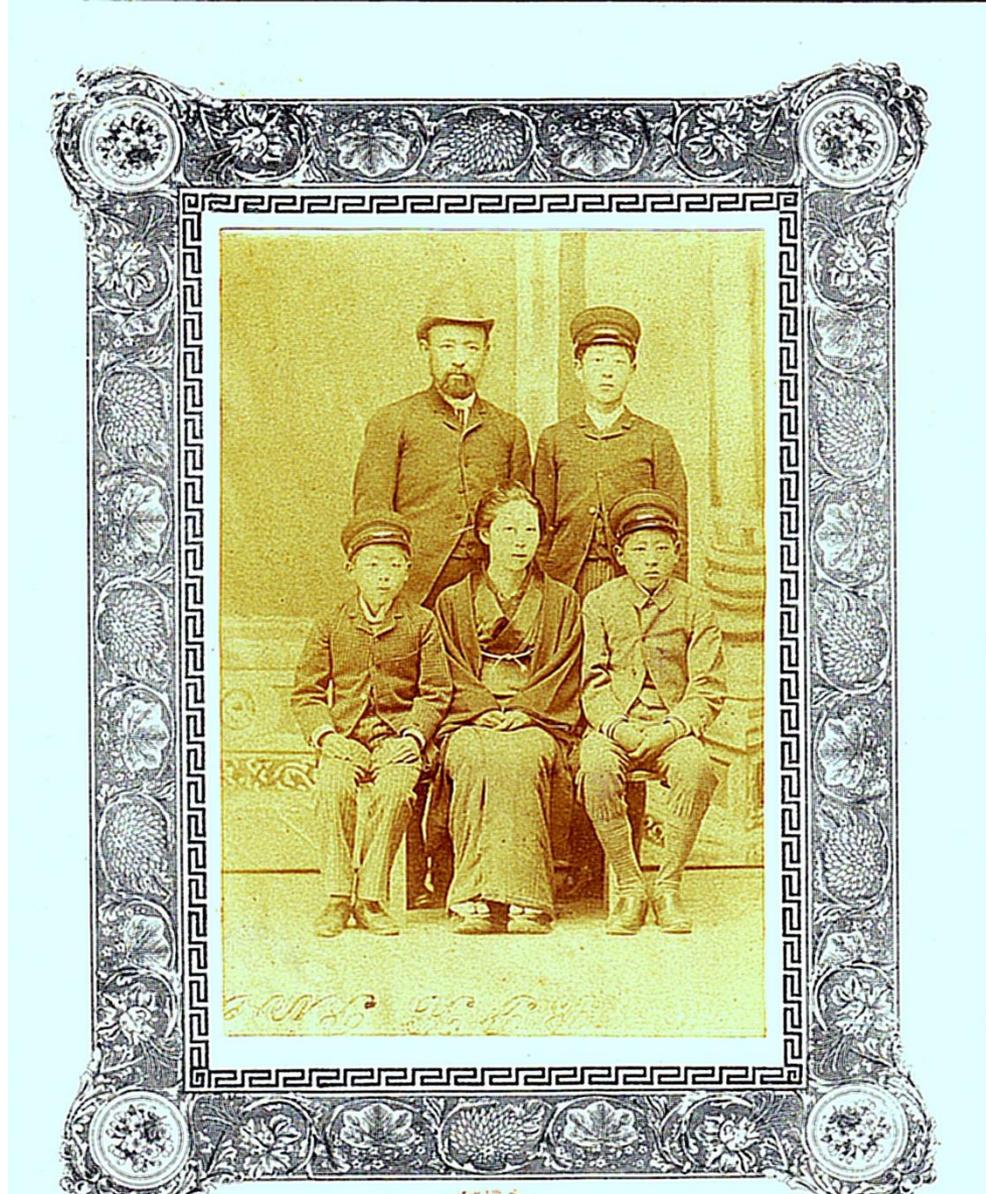
日本初の蚕業学校【小県蚕業】

初代校長 三吉米熊



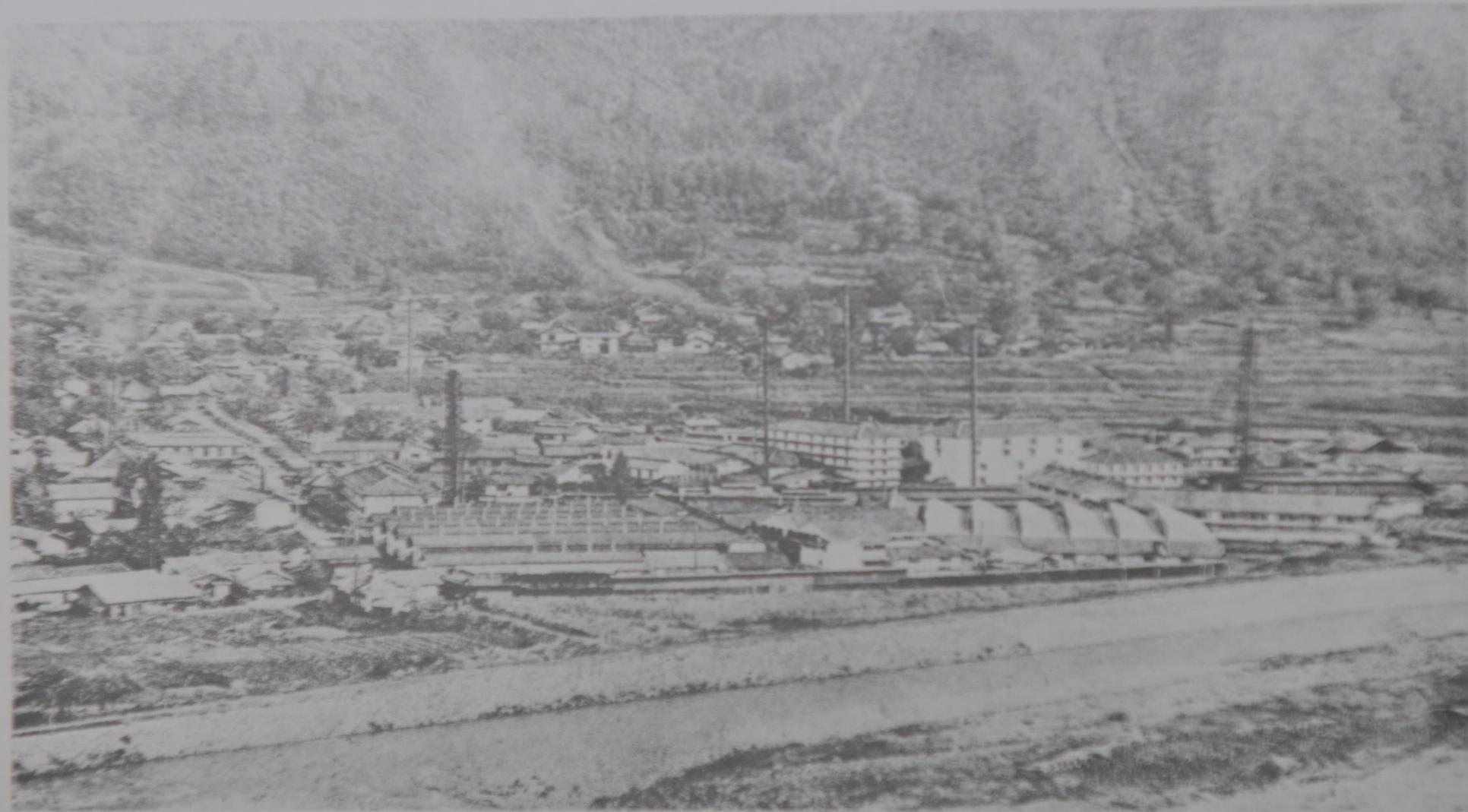
6

上田の蚕種は岩手県～鹿児島県

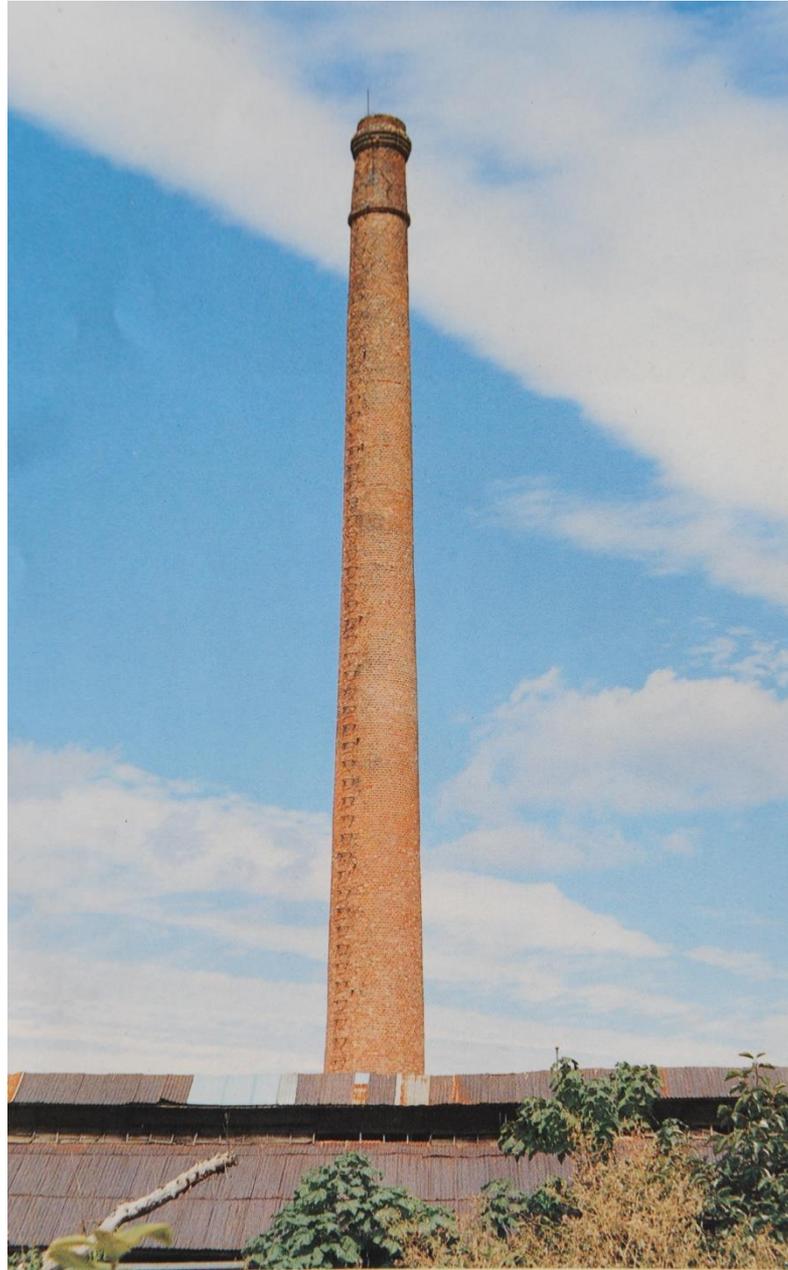


7

風穴蚕種が増大と製糸場 依田社の独鈷山風穴



依田社のカネタ製糸場赤煉瓦煙突



8 蚕種がもたらした上田の文化



8 長野県初のキリスト教会は上田に



8 山本鼎一農民美術・自由画教育

南信 中作

「かなえ先生」が また種

没後70年近くになる今も、上田市で「先生」と呼ばれる人がいる。姓ではななく名で、親しみを込めて「かなえ先生」だ。山本鼎一（1888～1946年）。大正期に革新的な美術教育や農村振興を同市で唱え、全国へ広めた画家だ。その業績を振り返る「山本鼎一すべて展」（上田市と同市教育委員会主催、信濃毎日新聞社など共催）が、同市立美術館で11月9日まで開催されている（休館は火曜日）。展覧の見どころを紹介しながら、4回にわたって鼎一の歩みをたどる。

（植草学）

おもちゃ箱を引つ繰り返したように、という言葉がぴったりの一室がある。1

上田市立美術館「山本鼎一すべて展」から



「山本鼎一すべて展」に並ぶ1920年代～30年代の農民美術品（上田市立美術館蔵）。手前の6点は素焼きの土ひねり人形（最も長身の像は高さ約16センチ）。郷土色を出すだけでなく、こんな西洋風の人形も生産された

農民美術・自由画教育

農村・学校に「美」の新風

90年代から30年代にかけ生産された農民美術品を製作して都会へ売り出した。展示だ。手慣れた作りではない、質朴な形や色が愛らしい。

郷土色にあふれるデザインの手作り品を、地方から全国へ発信する。今では普通の発想だが、デザインと

市だけでなく、県内外でも農民美術品を生産する団体

は生み出されている。上田

ちだった図画の授業を批判。「自然物を描かせ、美の情操を育てよ」「児童の

農民美術は19大正9年に鼎が今の上田市で、著

郷土色にあふれるデザインの手作り品を、地方から

市だけでなく、県内外でも

は生み出されている。上田

ちだった図画の授業を批判。「自然物を描かせ、美の情操を育てよ」「児童の



郷が動かしたのは、農村

鼎は述べている。職業的な美術家としての「展覧会美術」は日本でも盛んになっ



農民美術品の展示即売会場で、うれしそうにポーズをとる山本鼎

「わが国民として『美』に対する徳性を備せしめたいのだ。」

農村や学校に新風を送る運動家でもあった画家「かなえ先生」画業と詳しい足跡を次回が見てほしい。

建築の文化(大正モダン)・お菓子の文化



9 上田塩尻の蚕種製造業者の蚕種製造所



9

蚕種は上田全域の農家を潤した



9 上田の街を発展させた蚕種(昭和2年)



この地域を活性化するために



